

事業報告書

日時	令和2年9月26日(土) 14:00~16:00
目的	<p>男性の家事・育児参画を促進していくためには、男女が協力して家事・育児を行ったり、男女が共同して社会に参画したりすることの重要性や家庭の大切さについて、教育・啓発を通じて伝えていくとともに、生活を営むために必要な衣食住や保育などに関する知識や技術を身に付けられるような取組を行うことが重要である。</p> <p>今回の講座では日常生活を営むうえで必要かつ身近なものである洗濯の基本的技術を学ぶことで、男性の意識啓発と家事への関わりを促すことを目的とする。</p>
対象	関心のある方(男性優先)
講師	岩田 美和 氏(沖縄県クリーニング業生活衛生同業組合 理事長)
会場	ているる3F 創作室・生活実習室
参加者数	17名(女性2名・男性15名)
講演内容(概要)	<p>1 洗濯とクリーニング</p> <p>汚れは空気中のごみや皮脂などによるもの、シミは不注意などによるアクシデントで生じたものとの説明があった。</p> <p>クリーニング店では石油系溶剤を使って汚れを落としている。ドライクリーニングでは汗や匂いは落とせないことがあるので、気になる場合はウエットクリーニング(Wクリーニング)を依頼した方がよいとの助言があった。</p> <p>2 洗剤の選び方</p> <p>①洗濯石鹼</p> <p>石鹼と合成洗剤の違いについて説明があった。石鹼は昔ながらの製法で作ったもので、肌に優しいが一般的に洗濯には合成洗剤が使われている。</p> <p>洗剤の主成分は界面活性剤であることと、市販の様々な洗剤を例に挙げ、配合されている界面活性剤の割合が異なることが示された。また、洗濯物の量(重さ)を確認し、適切な洗剤の量を使うよう説明があった。</p> <p>②柔軟剤</p> <p>柔軟剤はリンスのようなもので洗濯機では入れる場所が違う(すすぎの時に入れる)。体臭と混ざると嫌な匂いになることがあるので、試しながら選ぶよう助言があった。</p> <p>③漂白剤</p> <p>漂白剤には酸素系漂白剤と塩素系漂白剤の2種類があり、白物、色柄物で使い分ける必要がある。一般的には酸素系漂白剤を置いておくことよいとの助言があった。</p> <p>3 簡単な染み抜き</p> <p>受講者で液体酸素系漂白剤、重曹、食器用中性洗剤を混ぜた魔法水を作ってもらい、醤油、口紅、ボールペンのインクの染み抜き実習が行われた。受講者は敷いた布に歯ブラシでしみを叩いて落とす感覚を体験していた。</p> <p>落とせないシミはクリーニング屋さんにご相談するよう助言があった。</p> <p>4 干し方</p> <p>洗濯物を早く乾かすには空気の通りをよくすることだと説明があった(アーチ干し、ジグザグ干しなど様々な干し方を紹介)。</p> <p>針金ハンガーを加工して服を広げるようにして干し、シャツ、ズボンを早く乾かす工夫を行っている事例の紹介があった。受講者に針金ハンガーを配り実際に作ってもらった。また、市販の便利な洗濯干しグッズの紹介があった。</p>

5 アイロンのかけ方

講師が実演しながらシャツと長ズボンについて、アイロンのかけ方の説明があった。

また、アイロン台の買い替えをする際には裏がメッシュで体重をかけられるしっかりしたものを選ぶよう助言があった。

6 取り扱い絵表示を知る。

服のタグに表示があるので、温度や洗濯方法などを確認するよう助言があった。

7 まとめ

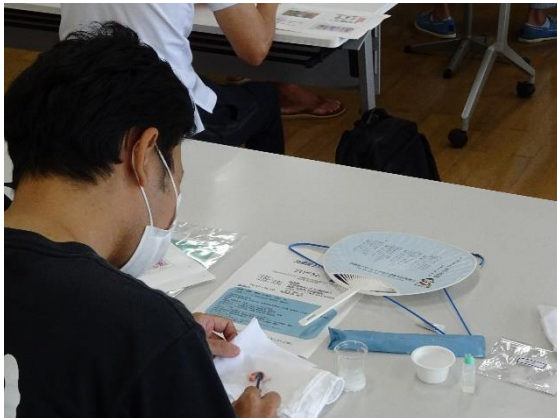
これまでのまとめとやってはいけないことの説明があった。

(質疑)

事前に配布した質問カードに基づいて、参加者が普段の洗濯で困っていることや洗濯に関する素朴な疑問などに答えていた。



↑ 岩田 美和 氏



参加者の声

(自由記載欄より抜粋)

岩田先生、わかりやすくご指導いただきどうもありがとうございました。

とても勉強になりました。ありがとうございました。

女性は大変な思いをしている事が解りました！

本講座の中級編や、よくやっているマチガイ洗濯や、アイデア洗濯など（の講座を開催してほしい。）

主催等

主催：沖縄県、(公財)おきなわ女性財団